

日本史研究推進委員会
共同研究「日本近現代史をどう教えるか」経過報告

元石川高校 長島 一浩

日本史研究推進委員会は、月例会を委員の勤務校等諸施設にて開催して学習会・研究報告や活動審議・情報交換を行い、他に巡検、「日本史サマーセミナー」を実施しています。学習会は毎回レポーターを設定し、各委員はその研究成果を年間の各研究大会にて発表します。学習会の今年度の共同研究テーマを「日本近現代史をどう教えるか」で、日本史A教科書・実教出版『新日本史A』を題材に單元ごとの内容で授業研究を行っています。例年テーマの「神奈川の教材化」をふまえ、多様な視点と最新の研究成果を取り入れ、授業実践にすぐに使える教材研究を意図しています。若い世代の委員の活躍で活動も活性化しています。活動に関心のある方は、是非、お気軽にご参加下さい。

月例会 2016（平成28）年度実施 会場校など（研究報告・学習会内容）

・4月：柏陽（研究・学習会の計画検討） ・5月：上溝南（「日中戦争」、実教Aの実践報告）
・6月：大磯（「自由民権運動」・「日本の植民地」） ・8月：柏陽（サマーセミナー「日清戦争」、「大正デモクラシーの広がり」）
・9月：元石川（研究発表「学校所蔵資料の活用」、「日本占領」） ・10月：津久井浜（「産業化の進展」）
・11月：鎌倉国宝館（特別展示見学）、鎌倉学園（「戦時下の社会と抵抗」）
・12月：明治大学登戸研究所資料館（特別展示見学） ・1月：柏陽（集中研修「19世紀末の東アジア」、「日露戦争から韓国併合へ」、「改造の時代」、「アジア・太平洋戦争」）、神奈川工業高校（「朝鮮戦争」、「日韓条約とヴェトナム戦争」）
・3月 湘南（研究発表「植民地（朝鮮）支配のはじまり」）

研究発表

- ・秋季研究発表大会（10月19日）「学校所蔵資料の活用」 風間 洋（鎌倉学園高校）
- ・春季研究発表大会（3月10日）「植民地（朝鮮）支配のはじまりー研究と授業をむすぶー」
中田 稔（大磯高校）

日本史サマーセミナー ※大学教員・歴史教育者による日本近代史の授業と研究、詳細は別項参照。

今年度は、8月18・19日の両日、以下のテーマで実施されました。

- ・「ゴジラの社会史」成田 龍一（日本女子大学） ・「日中15年戦争を学ぶ」丸浜 昭（獨協大学）
- ・「戦争責任と社会」大串 潤次（信州大学） ・「国民主権と日本国憲法」奥野 浩之（同志社大学）

巡検

- ・夏季（8月8～9日） 山梨県郡内地域、甲州市周辺

長島一浩（元石川高校）の計画にて上野原市甲州道中跡・犬目宿（甲州一揆と犬目兵助、甲州生糸）、甲州市の武田氏関連史跡・景德院・栖雲寺（武田氏終焉の地）、恵林寺（武田氏と江戸期の甲州）、雲峰寺（孫子の旗など）、放光寺（甲斐源氏安田義定）を踏査・見学し、それぞれ参加者が解説・レポートを行いました。また、高橋俊介（座間総合高校）の縁故にて山梨市・永昌院を見学、所蔵の武田氏関連の貴重な文書類の実物を見学、大いに参考になりました。

（※冬季巡検は、今年度は1月5日の集中研修となりました。）

末筆ながら、会場をご提供頂いた各校、および巡検・見学等でお世話になりました関係各位に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。